



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第105号

2011年12月

発行：CTF松阪

CTF 松阪の活動 この1年

平成 23 年もあと 1 ヲ月を残すのみとなりました。会員の皆さまの平成 23 年はどんな 1 年だったでしょうか？

今年の重大ニュースのトップは何と言っても『東日本大震災』です。3 月 11 日 14 時 46 分に発生したマグニチュード 9.0 の巨大地震とそれに伴う大津波は、地震と津波による被害にさらに原子力発電所の事故による直接的・間接的被害が加わり、人的・物的に未曾有の被害をもたらしました。科学の力で自然は征服できる

という西洋的な考え方に慣れて、自然を甘く見ていたツケが回って来たように思われます。現在も不自由な生活を送っておられる多くの方々に、お見舞いと激励のことばを差し上げたいと思います。

さてCTF ではこの 1 年、これまでの経験を生かして障がい者の方々のニーズに合った諸活動を展開しました。11 月末までの主な活動は下表のとおりです。会員の皆さまのご支援・ご協力に感謝いたします。

障がい者対象個人向けパソコン講座開催	42 回	受講者延べ 162 名
障がい者の方のための夏季パソコン講座開催 2 コース	6 回	受講者延べ 25 名
ワーク会員スキルアップ研修会開催	13 回	受講者延べ 13 名
会員スキルアップ研修会開催	3 回	受講者延べ 29 名
障がい者宅訪問 IT サポート	46 回	
IT 関連事業受託（意思伝達装置使用サポート、ホームページ編集など）		5 件
会員情報紙「CTF 通信」発行		11 回

愛 郷 無 限



今年も残り少なくなって参りましたが、私にとっては何かと忙しく感じられる 1 年でした。

相変らず田舎で荒地の整備に追われています。

今年の成果は、「山菜の山ウド」を 50～60 株植えた事です。これは、種から採ったもので丸 2 年かかりました。いよいよ来年は収穫の年で、独特の食感是非常に人気があります。今年もたくさんの種が採れました。来春にはプランターで育て、会員の皆様初め希望者の方にプレゼントするつもりです。

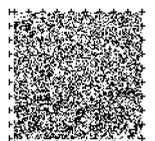
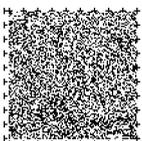
このたび、私たち「地域づくりの会」と「小黒田町自治会」主催で、竹炭門松作りを 12 月 8 日に小黒田町公民館で行います。（雨天の場合 12 月 10 日）もしよろしければ、当日CTFの会員の皆様も参加してみてください。

遅れましたが、今年の 2 月の竹炭・花炭の作品発表会（松阪市文化財センターで開催）には会長初め多くの方の参加と協力をいただき誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

最後に、会員の皆様初め私にとって、来年も良い年でありますように。

相津地域づくりの会

代表 三田 守



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 1 ページと第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。



Windows はどうやって起動しているのか (5-1)

パソコンの電源を入れればWindowsが起動(ブート)する。この極めて当たり前の動作ですが、あなたのパソコンが突然起動しなくなったらどうしますか。

面倒なWindows OSの再インストールをしますか。こんなときブート・プロセスやトラブルシューティングの方法を理解していると面倒な再インストールを回避することが出来るかもしれません。

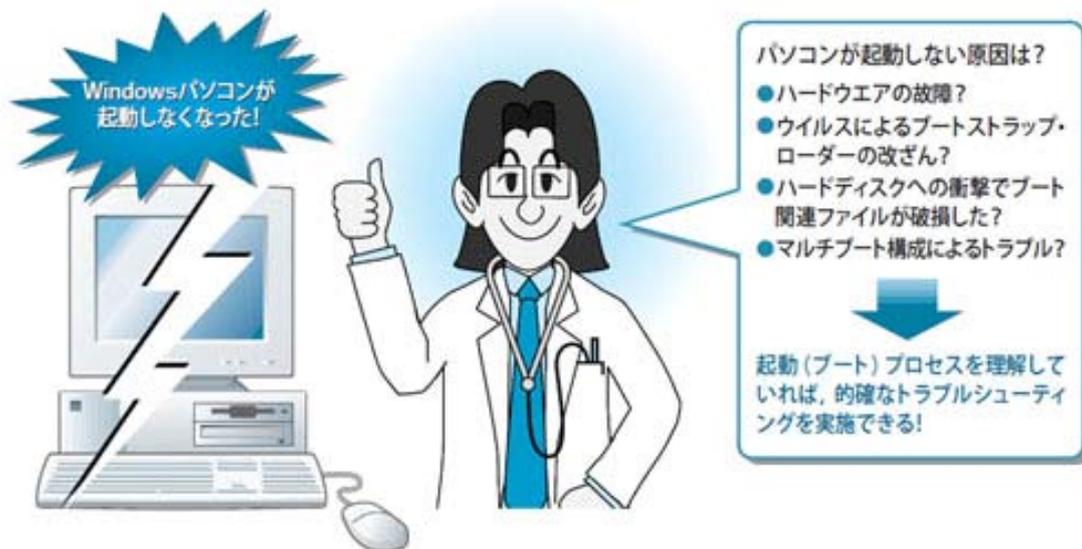
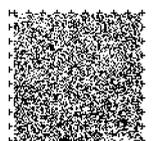


図4 パソコンが起動しなくなったときどう対処しますか?

ブートに関するトラブルとしては、パソコンへの衝撃やハードディスク(HDD)の動作不良によってブートに必要なファイルが破損したり、ウイルスによってブート関連ファイルが改ざんされたり、異種OSを1台のマシンにインストールするマルチブート構成等々が考えられます。

ブート・プロセスで重要な役割を果たすMBR(マスター・ブート・レコード)やブート・セクターが破損・改ざんされても、それらを修復する方法は意外と簡単です。そこで、Windows 98とXPを中心にWindowsが起動するまでの仕組みについて勉強しましょう。

つづく



活動報告

【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(1日、8日、15日、22日)

訪問ITサポート

(9日(2件)、10日、30日)



活動予定

【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

13日、20日

各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記

更科 (さらしな)

12月ですね、大晦日には年越しそばということで、今年最後の食べあるきは「更科」を訪ねました。

五曲橋の西、パワーセンターの南にあるモダンな外観のお店です。

この店の中華そばも美味しいと評判ですが、今回は年越しそばなので「割り子蕎麦セット」と「天丼セット」を注文しました。店員さんの快活な対応が気持ちよく、運ばれてきたお蕎麦は細め、つゆはダシの香りがよくきき、甘くもなく辛くもなくほどよい味でした。

写真は、割り子蕎麦セット(上) 1,350円と
天丼セット(下) 1,030円

所在地：松阪市外五曲町84-6

電話：0598-21-1168

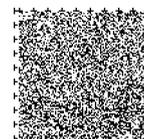
営業時間：11:00~15:30

17:00~20:30

定休日：毎週火曜日



去年・今年と2年間24回にわたってお届けした「松阪食べある記」は、今月で終わります。ご愛読ありがとうございました。来年は新シリーズ「駅を訪ねて」を連載する予定です、ご期待ください。



初めての救急車

T. S

一昨年4月のある日の出来事。

とあるイベントも無事に終わり会場の入り口に立て掛けてあったイベント開催案内の大きな立て看板を外すため脚立梯子を伸ばして作業していた。

作業を終えて1~2段降りたところで有ろうことか脚立が折れてしまった。仲間が集まり大丈夫かの声に大丈夫でないと答えた。痛みが普通じゃない。救急車を呼んでくれる者、家族に連絡してくれる仲間。



休日の病院は意外なほど静かだった。

CTやMRIを撮って医師の説明は踝の骨が折れて曲がってずれて、とにかく手術が必要らしい。そんな言葉も上の空で聴いてこんな時はとにかく医者任せ。

手術は踵なのに全身麻酔。折れた骨を何本かのチタン製ボルトで止め完了。

麻酔のため痛みは感じないが、もう一つ感じないものがあった。それは便意・尿意。それで施されたのが「導尿」。若い美人看護師さんがやってくれたんですよ！！。

術後直ぐに始まるリハビリ。自分でも足指や足首の屈伸を怠ると直ぐに脹脛(ふくらはぎ)が浮腫(むく)んで来る。

車椅子から松場杖・T型杖とリハビリ生活は意外と長く退院できたのは6月。仕事に復帰したのが8月。

社会復帰はしたものの正座をしたり、革靴を履いたりしたとき踝に違和感があった。指で触ってもボルトらしきものが突出しているのが分かった。そこで、この10月に再手術して3本のボルトを抜いてもらった。今回はリハビリも無く、抜糸した後は入浴も出来、違和感も無くなり完全社会復帰を果たしたわけである。

それにしても、入院治療通の1週間は思うように動かせない体や長引く入院にイラついたり昼間は無聊で体を持て余し健康の有難さを身にしみて感じたこの一年でありました。



編集後記



師走です、今年一年を振り返ると、東日本大震災、津波の怖さを改めて知りました。又紀伊半島を大雨が直撃し大きい被害を残しました。自然の驚異・・・町からは今年を締めくくる、ジングルベルの歌が流れています。神に祈りを捧げ・24年が明るい年だといいですね。



CTF 通信第 105 号

2011年(平成23年)12月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

